

コア歯学教育演習（Ⅱ）

コーディネーター：歯科矯正学分野 間山寿代准教授

(担当 歯学部臨床系全分野)

第4学年 後期

演習
43.5時間

学修方針（講義概要等）

これまでの4年間の学部教育の中で、1年次での看護・介護体験実習や態度演習、2年次では歯科専門体験実習を通して、将来歯科医師として必要な基本的態度を身につけてきた。また3,4年次での臨床歯科医学科目の基礎実習を行うことで、多くの臨床に関わる技能の基礎を身につけてきた。本演習では今まで身につけてきたことを基礎にして臨床科目全科にわたる演習を実施し理解することにより、5年次で行う臨床実習を十分に行える態度、技能、知識を身につける。

教育成果（アウトカム）（演習）

演習：5年次で行う臨床実習に求められる医療面接、基本的診察、検査能力、基本的臨床技能、臨床項目全般にわたる説明と指導方法などを演習することにより将来歯科医師として必要な基本的態度、知識、技能が身につく。
(ディプロマ・ポリシー：1、3、4、5、6、9)

事前事後学修の具体的内容及び時間

シラバスに記載されている次回の演習内容を確認し、各ユニットの到達目標に記されている「事前学修課題」について各自学習してくる。各演習に対する事前学修の時間は最低30分を要する。本内容は全ユニットに対して該当するものとする。

講義日程

月日 演習場所	担当講座・分野	時 限	ユニット名 [コア・カリキュラム]
1月30日 (月) 矢巾 スキルスラボ	コーディネーター		演習の説明(12:30~)
	歯科矯正学分野	3	矯正装置の説明 [E-4-1)-④]
4		事前学修：矯正装置について、教科書(医歯薬出版歯科矯正学)、歯科矯正学講義ノートに目を通して実習に臨むこと。	
1月31日 (火) 矢巾 スキルスラボ	小児歯科学分野	1	保隙装置の説明、保護者へのブラッシング指導、フッ化物塗布、予防填塞 [E-4-2)-⑧、F-3-6)-③、F-3-6)-①、F-3-6)-②]
		2	事前学修： 上記の4項目に関する教科書(学建書院版)、配布している基礎実習書に目を通して実習に臨むこと。
		3	予備
		4	

月日 演習場所	担当講座・分野	時 限	ユニット名 [コア・カリキュラム]
2月1日 (水) 矢巾 スキルスラボ	補綴・インプラント学講座	1	支台歯形成、テンポラリークラウンの作製 [E-3-4)-(1)-④、E-3-4)-(1)-⑥] 事前学修：
		2	FRのクラウンの実習書の支台歯形成と既製冠を用いた 暫間冠製作に関する手技と使用する機材を確認してお くこと。
		3	概形印象採得、欠損補綴の治療方針の説明、 レストシートの形成 [F-3-1)-⑤、E-3-4)-(2)-②、E-3-4)-(3)-①、 E-3-4)-(1)-①、E-3-4)-④]
		4	事前学修：上記内容に関する有床義歯補綴学の講義レジ メおよび実習書の内容をそれぞれ A4 レポート用紙 1 枚 にまとめておくこと。
2月2日 (木)	予防歯科学分野	1	ブラッシング指導 [F-3-2)-③]
		2	事前学修：事前に口腔保健・予防歯科学 P154～160 を読 み、ブラッシング方法についてまとめておくこと。
		3	口腔内状態の記録 [F-2-2)-②]
		4	事前学修：事前に口腔内状態の記録（硬組織診査等）に ついて該当する講義資料等を調べてまとめておくこと。
2月3日 (金) 内丸3F 実習室	歯科麻酔学分野	1	予備
		2	浸潤麻酔 [F-3-1)-④] 事前学修：浸潤麻酔に必要な器具、手順について教科書 （臨床歯科麻酔学）を見て実習に臨むこと。
	歯科麻酔学分野	3	バイタルサイン、心肺蘇生 [E-1-4)-(1)-①、E-1-6)-②]
		4	事前学修（麻酔）：バイタルサインの正常値、触診法に よる血圧測定の方法、心肺蘇生法の手順について、教科 書（臨床歯科麻酔学）を見て実習に臨むこと。
2月6日 (月) 内丸3F 実習室	歯科放射線学分野	1	エックス線撮影の説明（班別：第1班） [E-1-2)-②、③、E-1-2)-⑦]
		2	事前学修（放射線）：歯科診療におけるエックス線撮影 の必要性、目的、方法、放射線防護および放射線の人体 への影響について教科書で事前学習すること。
	歯科放射線学分野	3	エックス線撮影の説明（班別：第2班） [E-1-2)-②、③、E-1-2)-⑦]
		4	事前学修（放射線）：歯科診療におけるエックス線撮影 の必要性、目的、方法、放射線防護および放射線の人体 への影響について教科書で事前学習すること。

月日 演習場所	担当講座・分野	時 限	ユニット名 [コア・カリキュラム]
2月7日 (火) 矢巾 スキルスラボ	口腔外科学分野	1	初診患者の医療面接（急性症状、慢性症状） [E-1-1)-③] 事前学修：歯科治療時に注意しなければならない全身的な疾患と処方されている薬物について
		2	・抗凝固薬、免疫抑制薬、骨吸収抑制薬など ・薬の相互作用
		3	頭頸部（顎・顔面・頸部）の診察、手洗いと滅菌グローブ装着、普通抜歯、縫合 [F-2-2)-②、F-3-1)-①、F-3-5)-①、[F-3-5)-②]
		4	事前学修：頭頸部の診察、手洗い・滅菌グローブの装着、抜歯器具の準備・抜歯操作、縫合について講義レジュメ、実習書を確認してから臨むこと。
2月8日 (水) 矢巾 スキルスラボ	歯周療法学分野	1	歯周病の病状の説明 [E-3-3)-(3)-②] 事前学修：臨床歯周病学、ザ・ペリオドントロジー等の教科書、3年 TxAD 講義および実習レジュメに目を通して実習に臨む事。
		2	
		3	スケーリング・ルートプレーニング [F-3-3)-⑥、G-3-⑥] 事前学修：臨床歯周病学、ザ・ペリオドントロジー等の教科書、3年 TxAD 講義および実習レジュメに目を通して実習に臨む事。
		4	
2月9日 (木) 矢巾 スキルスラボ	歯科医学教育学分野 う蝕治療学分野	1	ラバーダム防湿、根管治療、う蝕象牙質の除去 [F-3-1)-③、G-3-⑤、G-3-④] 事前学修：ラバーダム防湿、根管治療、う蝕象牙質の除去について、講義ノート、実習書を参照
		2	理解ができない場合は、教科書（医歯薬歯内治療学）にて確認する。
		3	レジン充填、修復用隔壁の装着 [F-3-3)-①、G-3-④] 事前学修：レジン充填、修復用隔壁の装着について、講義ノート、実習書を参照
		4	理解ができない場合は、教科書（医歯薬保存修復学）にて確認する。
	OSCE 実施委員長		OSCE の説明会（16:30～）
2月10日 (金)	予備日	1	
		2	
		3	
		4	

成績評価方法

共用試験 OSCE により評価する。

備 考

到達目標は、医療系大学間共用試験実施評価機構の歯学系 OSCE を参照